



しびる

一般社団法人日本建設業連合会 関西支部



●巻頭対談／近畿の未来
身につけるべきは「想定外」をつねに想定し、
油断せず、恐れず生きる智慧。

室崎益輝氏×玉岡かおる氏

●レポート・最前線

関西圏の交通網を強化する
国内最大規模の高架橋工事が進む和歌山JCT(仮称)

天空で繋がる

「雄ノ山高架橋」

●ザ・プロフィール

現場で働くってカッコイイ！憧れて入社しました。 梅若夢夏さん

●偉人たちの歴史街道

理想の社会をつくるため、近江八幡に生涯を捧げた建築家
ヴォーリスの偉業

●しびるWalker

変革の息吹を感じる街、福井市

●ランドマーク

国内最高峰のツインタワー、2017年春登場！
フェスティバルシティ

●トピックス／歴史のある風景

歴史のある風景

旧日本軍の要塞が残る無人島群

〜紀淡海峡に浮かぶ友ヶ島〜

大阪湾と紀伊水道を分ける紀淡海峡に位置する沖ノ島、神島、虎島、地ノ島。これら4つの無人島を称して「友ヶ島」と呼ぶ。

大阪港や神戸港に出入りする船舶の航路にあたる紀淡海峡は、かつて軍事防衛の要衝として大切な役割を果たしていた。

瀬戸内海国立公園の一角を占め、豊かな自然が残る友ヶ島には、和歌山市の北西にある「加太港」から定期汽船に乗り約20分で着く。友ヶ島の代表的な土木遺産に挙げられるのが旧日本軍の要塞施設だ。

明治時代、外国艦隊の大阪湾への進入を防ぐ目的で、沖ノ島内の5カ所に砲台や防備衛所が造られ、一般の立ち入りは禁じられた。後の第二次世界大戦では、対艦用砲台は使用されことなく終戦を迎える。

終戦時に爆破処分された第2砲台以外は、いまま軍事施設跡が当時に近い状態で残っている。

中でも朽ちた赤レンガの佇まいが独特の雰囲気醸し出す第3砲台跡は、愚かしく無惨な戦争を証言する施設として、映画や雑誌などのロケでもたびたび使用され、2003年には土木学会選奨土木遺産にも選ばれるなど注目度も高い。

友ヶ島灯台は、明治5年(1872年)イギリスの土木技師リチャード・ヘンリー・

ブランドンの設計により建設された西洋式石造り建築が美しい灯台。

紀淡海峡を航行する船舶の「道しるべ」として今も活躍中。

2008年には、経済産業省の「近代化産業遺産群」にも認定された。



西に海を望む第2砲台跡



日本で8番目に古い、高さ12メートルの友ヶ島灯台(沖ノ島)



島内最大規模の第3砲台跡。弾薬支庫がほぼそのまま保存されている